

<執筆者プロフィール>

高橋 功吉
(たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営
常務理事 グローバル事業担当



大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMCI(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マスターマネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

具合が悪い情報は入らない
意思決定には適切で正しい情報が不可

多い。本来であれば、

より優位性ある展開

以前、「適切な経営判断」というテーマでコラムを記載した。ベースは、「素直」ということと、意思決定の判断基準を持つということとを記載したと思う。ところで、誤った判断で厳しい経営に追いやられるという場面に出会うことがある。なぜそのような事態に陥るのであるのか。

欠だ。ところが、具合が悪い情報はトップには入らないのが常だ。Bad News Firstといくら言っても、実態はそうはならないことが多い。それは任せられた人間から言えば、単に叱られるというだけの話しではなく、自分に対する評価が下がることにつながるから。そのため担当者も悪戦苦闘しながらも、がんばっていますというような報告になることが多い。

通常、経営力のある経営者であれば、経営判断する上で必要となる情報は集めている。具体名は避けるが、いっしょに市場を制覇しようとして失敗した事例を見てみると、意思決定にあたっては、この市場は間違いなく拡大するか、その市場に対応するのに自社の技術は圧倒的に優位なのか、他社が実現することは難しいのかといった確認をした上で、市場制覇を目指した大規模な投資を実施。ところが、他社方式では難しいと報告があった他社がその市場に対応すると共に、自社

をもっと早く方針変更すべきにもかかわらず、問題が大きくなり、どうしようもなくなってしまうということもある。

都合の良い情報だけで判断すると

経営判断という

質の良い情報入手を心がける

読者の皆さんの中には、自らが社長として采配を振るわれている方も多いため、内容が正しければ適切だったと言えるが、実際には「自社の技術は優れている、他社では難しい」と報告した担当者には、上に少しでも良く見せたいという思いから、内心では他社方式でも実現できると思っている。報告は入りにくいというものは事実だ。

また、この立場になると、悩みながらも意思決定することも結構多いはずだ。限られた情報でも質の良い情報であれば適切な意思決定はできるが、前述したように必ずしも正しいと言えない情報も混じっている場合もある。重要な意思決定をする場合は、意思決定するポイントとなる判断材料だけは本当に正しい情報かと疑い、多面的に確認することが大切だ。

実際、その意思決定は適切なのかと疑問に感じる場面もある。また、それだけの投資をして本当に将来性はあるのだろうかと感じる場面もある。そこには判断根拠となっている情報は正しいのだろうかとか疑問に感じることがあるということだ。

経営を進める上で、タイムリシットを逃さず、迅速な意思決定をすることは重要なことだが、そこには質の良い情報が不可欠であり、そのためには意識して質の良い情報入手できるようにすることが大切と言える。具合の悪い情報をどれだけ迅速にあげてくれるか否かは経営トップの人望によっても差が出る。質の良い情報入手できるように意識すること、あるいは人格者になる努力も必要ではないかということだ。もちろん適切な経営判断力が必要不可欠なことは言うまでもないが。

人望も重要

向いて状況を確認するということも大切だ。

企業情報、掲載します
新製品・サービスなど
企業情報を掲載させていただきます。
掲載ご希望の企業の方は下記までご連絡ください
バンコク週報 info@bangkokshuho.com

東京都中小企業振興公社 無料経営相談
~経営課題は早めの相談が肝心です!~
都外企業やタイ企業にもご利用いただいております。
経験豊かな経営相談員
梅木相談員(月水金担当) 中尾相談員(月水金担当) 藪本相談員(火曜担当) 森山相談員(月水金担当) 倉地相談員(公認会計士(日本)MBA(木曜担当)) 吉越相談員(月水金担当)
相談時間 >>> 平日13:00~17:00
まずは電話またはメールでご連絡ください!

利用者の声
タイ人担当者の言うことが良く理解できなかったが相談にきてクリアになった。
駐在員が自分だけで相談できるところがなかったのととても助かっている。
バンコク週報を見た知り合いに紹介され利用した。今後も利用したい。
初めて利用したときから丁寧に対応していただき、何度も利用しています。

相談事例
■ 自社で使用する金型の輸入・販売ライセンスがないが、輸入しなくてはいけなくなった。
■ タイ出張で年間180日を超えてしまった。タイの税務当局からは1年分を納税するよう言われたが、日本本社側と意見が食い違っている。
■ 会計事務担当の横領が発覚。本件の処理についてどうしたらいいか。
■ 解雇した従業員から労働裁判の提起があった。今後の流れや対応策を教えてください。
■ 労働安全衛生管理者が必要と聞いたが...